

5 八幡東区

八幡東区は、官営八幡製鐵所創業の地として、近代日本の発展の礎となった地域です。近年は東田地区では先端産業の集積や未来都市づくりが進み、既成市街地では大規模住宅跡地などを活用した新しいまちづくりが進んでいます。

国内有数の夜景スポットとして有名な皿倉山や河内貯水池などを中心に豊かな緑が広がっています。



(1) まちづくりの方向性

○歴史ある製鉄関連などの企業や先端産業が集積する東田地区と商店街などの市街地が連携して新たなビジネスの創出に挑戦し、ともに発展するまちづくりを推進します。

○夜景の名所である皿倉山や東田地区の各種施設、河内地区の自然など、高い集客力を持つこれらの地域資源の連携を図るとともに、伝統文化に根ざした祭りや食の魅力の活用、宿泊機能の強化などにより、観光などで訪れた人たちが循環し、滞在するまちをつくりまします。

○高い交通利便性や医療・健診機関の充実に加え、様々な体験や学びが身近にできる恵まれた環境を生かし、まちなかにある未利用地の利活用や居住の促進により、誰もが住み続けたいまちをつくりまします。

○製鉄のまちとして培ってきたシビックプライドや、主体的にまちづくりに取り組んできた地域・市民・企業の力を今後も育み、サステナブルなまちづくりを推進します。

(2) 参考とした市民の皆様のご意見

- ・八幡製鐵所とともに発展してきたまちの歴史、皿倉山、夜景、河内貯水池、環境未来都市づくり、祇園山笠、JICA を中心とした国際交流、世界遺産、いのちのたび博物館など、八幡東区にはユニークな強みがたくさんある。
- ・商店街や地域の活動が盛ん。八幡愛を持つ人が多い。八幡愛であふれるまちにしたい。
- ・東田地区の大型商業施設に来た方をどのように循環させるかが大事。日本一の夜景を生かしながら、食などを絡めて宿泊へつなげていくなど。
- ・皿倉や河内の整備も非常に大事。豊かな自然を整備して観光資源とすべき。

(3) 地域資源・ポテンシャル

①産業

官営八幡製鐵所とともに日本の近代産業を支えた、長い歴史を持つ製鉄関連の企業が集積しています。また、東田地区では、IT、環境、新エネルギーなど、新たな分野の企業集積が進んでいます。現在は、東田・未来都市プロジェクトを展開し、MaaS に向けた実証や各種センサーを用いた人流の把握・分析など、社会課題の解決に向けた先端的な実証・実装事業が行われています。

②都市機能

市内拠点をつなぐ鉄道や路線バスが充実するとともに、国道3号黒崎バイパスや北九州都市高速道路が市街地に直結し、交通アクセスに優れています。

また、北九州市で唯一の小児救急・集中治療センターが併設されている市立八幡病院をはじめ、高度な診療機能を持つ総合病院や健診機関が集積しています。

③住環境・地域

桃園公園のスポーツ施設や響ホール、東田地区の各種施設など、スポーツ・文化施設が充実しており、様々な学びや体験をする環境が身近に整っています。

また、九州国際大学や国際協力機構 JICA 九州センターが立地していることから、研修生や留学生などの外国人市民が多く、交流イベントなどを通じて、多文化に触れる機会にも恵まれています。

そのほか、学生の長期継続的な地域活動への参加や地域団体による道路や公園を活用した定期的なイベント開催のほか、地域や企業で構成する団体が参加して平成29年度（2017年度）に「八幡東まちづくりプラン」を作成するなど、地域主体のまちづくりが進められています。

④観光・歴史・文化・食

東田地区には、世界遺産関連施設の官営八幡製鐵所旧本事務所をはじめ、東田第一高炉史跡、西日本最大級の自然史・歴史博物館である「いのちのたび博物館」、スペース LABO など、特徴ある施設が集まっています。さらに、スペースワールド跡地への大型商業施設の進出により、市内でも最大級の集客力を持つ地域となっています。



写真提供：日本製鉄㈱九州製鉄所
（※一般には非公開の施設です）

そのほか、明治34年（1901年）から続く「まつり起業祭八幡」や北九州市無形民俗文化財である前田祇園山笠をはじめとする各地域の祇園まつりなどの伝統ある行事に加え、製鉄のまちの歴史から生まれた八幡ぎょうざや堅パン、皿倉山の伏流水で造る日本酒に代表される多彩なグルメなど、魅力的な地域資源が数多くあります。

⑤自然



皿倉山や河内貯水池、河内藤園、板櫃川などの豊かな自然が身近に広がっています。また、ケーブルカーで気軽に登ることができる皿倉山は、日本新三大夜景都市である北九州市を代表する夜景スポットであり、壮大で美しい夜景を見ることができます。

このほか、高見地区や前田地区の桜並木、河内地区の紅葉など四季折々の美しい景観を身近に楽しむことができます。